

InSECT 2016 - ImPACT 宮田プログラム国際シンポジウム

昆虫のセンシングシステムを 超微細エレクトロニクスで実現

名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館

地下鉄名城線名古屋大学駅下車 2 番出入口より徒歩 5 分

会費無料 意見交換会 参加費 3,000 円

定員 200 名



事前申込締切：4月21日
(意見交換会は事前申込のみ受付)

下記 URL からお申し込みください
<https://impact.jst.go.jp/sympo/miyata/>

2016.4.26.Tue-27.Wed

4.26 10:00-18:15 開場 9:00 4.27 9:00-16:50 意見交換会 4.26 18:15-20:00

プログラムマネージャー&プロジェクトリーダー



宮田 令子 Reiko Miyata
プログラムマネージャー

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 特任教授



川合 知二 Tomoji Kawai
プロジェクト1:細菌・ウイルス リーダー

大阪大学産業科学研究所 特任教授



馬場 嘉信 Yoshinobu Baba
プロジェクト2:PM2.5 リーダー

名古屋大学大学院工学研究科
先端ナノバイオデバイス研究センター 教授・センター長
/国立研究開発法人 産業技術総合研究所
健康工学研究部門 研究顧問



都甲 潔 Kiyoshi Toko
プロジェクト3:有害低分子 リーダー

九州大学大学院システム情報科学研究院 主幹教授
/九州大学味覚・嗅覚センサ研究開発センター センター長

基調講演者

アブラハム P. リー Professor Abraham P. Lee
カリフォルニア大学アーバイン校 教授 / 元 DARPA プログラムマネージャー

特別講演者

マリジャ・ダーンディック
ペンシルバニア大学 教授

クリシュナ・パーサウド
マンチェスター大学 教授

チャールズ S. ヘンリー
コロラド州立大学 教授

一村 信吾
名古屋大学 教授

招待講演者

ホッサム・ハイク
イスラエル工業大学 教授

安田 二郎
長崎大学 教授

中本 高道
東京工業大学 教授

早川 和一
金沢大学 教授

松見 豊
名古屋大学 教授

ホー・ワン
ジョージア工業大学 助教

中江 裕樹
JMAC 研究部長

主催・お問い合わせ先 ■ 国立研究開発法人 科学技術振興機構 革新的研究開発推進室 宮田PM担当 TEL:03-6380-9012 E-mail:impact-myt@jst.go.jp

昆虫のセンシングシステムを超微細エレクトロニクスで実現

本シンポジウムは内閣府 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) 「進化を超える極微量物質の超迅速多項目センシングシステム」(宮田プログラム)に関する国際シンポジウムです。

本シンポジウムでは、宮田プログラムで取り組んでいる細菌・ウイルス、PM2.5、有害低分子のセンシングシステム開発について研究成果を発表するとともに、関連分野の研究開発に関して世界トップレベルの先生方に講演いただき、微量物質センシングシステムの研究開発の方向性、社会実装について議論します。

プログラム Program

アクセス Access

1日目:4月26日(火)

2日目:4月27日(水)

10:00-10:10 開催挨拶
 10:10-10:25 InSECTプログラムの紹介
 10:25-11:45 講演 1-1:細菌・ウイルス
 11:45-12:55 昼食:各自
 12:55-14:40 講演 1-2:細菌・ウイルス
 14:40-14:55 休憩
 14:55-16:45 講演 2-1:有害低分子
 16:45-17:00 休憩
 17:00-18:15 講演 2-2:有害低分子
 18:15-20:00 意見交換会
 (野依記念交流館1階会議室)

9:00-10:20 講演 3-1:PM2.5
 10:20-10:35 休憩
 10:35-11:45 講演 3-2:PM2.5
 11:45-12:45 昼食:各自
 12:45-13:45 ポスターセッション
 13:45-14:55 講演 4:国際標準化
 14:55-15:10 休憩
 15:10-15:40 基調講演
 15:40-16:40 パネルディスカッション
 16:40-16:50 閉会挨拶



宮田 令子 Reiko Miyata プログラムマネージャー

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 特任教授

お茶の水女子大学理学部生物学科卒業。東レ株式会社入社(基礎研究所合成化学研究室)。2000年学位取得(農学博士、京都大学) 同社・ケミカル研究所主任研究員。2004年名古屋大学産学官連携推進本部知財マネージャー(東レより出向)。2010年~名大産学官連携推進本部特任教授。2014年~ImPACTプログラム・マネージャー(名大/JST間のクロスアポイントメント)。

川合 知二 Tomoji Kawai プロジェクト1:細菌・ウイルスリーダー

大阪大学産業科学研究所 特任教授

1969年東京大学理学部化学科卒業。1971年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。1974年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了・理学博士(東京大学)。1992年大阪大学産業科学研究所 教授(2010年3月まで)。2001年大阪大学産業科学研究所 高次インターマテリアル研究センター長(併任)(2002年3月まで)。2002年大阪大学産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター長(併任)(2004年3月まで)。2004年大阪大学産業科学研究所 所長(2008年3月まで)。2006年日本学術会議 連携会員。2007年大阪大学 総長補佐 2008年8月まで。2010年大阪大学産業科学研究所 特任教授。2014年独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター長。2014年東京都市大学 特別教授。

馬場 嘉信 Yoshinobu Baba プロジェクト2:PM2.5 リーダー

名古屋大学大学院工学研究科 先端ナノバイオデバイス研究センター 教授・センター長/国立研究開発法人 産業技術総合研究所 健康工学研究部門 研究顧問

1981年九州大学理学部化学科卒業。1986年同博士課程修了、学振・特別研究員、大分大学助手・講師、神戸薬科大学講師・助教授、97年徳島大学教授を経て、2004年より名古屋大学・工学研究科教授。同大学革新ナノバイオデバイス研究センター長、同大学総長補佐、同大学シンクロトン光研究センター長、同大学未来社会創造機構教授、同大学医学系研究科協力講座教授、産業技術総合研究所健康工学研究部門 研究顧問を歴任。専門はナノバイオサイエンス。Merck Award(2004)、日本化学会学術賞(2008)、日本分析化学会賞(2015)他多数受賞。

都甲 潔 Kiyoshi Toko プロジェクト3:有害低分子 リーダー

九州大学大学院システム情報科学研究院 主幹教授/九州大学味覚・嗅覚センサ研究開発センター センター長

1980年3月九州大学大学院博士課程修了、九州大学工学部電子工学科助手、助教授を経て、1997年4月より九州大学大学院システム情報科学研究院教授。2008年~2011年、システム情報科学研究院長。2009年より主幹教授。2013年より味覚・嗅覚センサ研究開発センター長。文部科学大臣表彰(2006)、井上春成賞(2009)、春の紫綬褒章(2013)等多数受賞。